



広島と長崎に人類史上初めて原子爆弾が投下されてから、74年目の夏を迎えようとしています。たった2発の原子爆弾によって、街は壊滅し、30万人以上の生命が奪われました。投下から70年以上たった今でもなお、心と体に傷をかかえ苦しんでおられる原爆被害者の方々の現状を拝察いたしますと、戦争の惨禍が永久に起こらないことを強く願わずにはられません。

世界で唯一の被爆国に住む私たちには、真に平和な社会を築くため、世界中の人々に対して核兵器廃絶や戦争の愚かさを訴えていくという重大な使命が課せられております。

核非武装都市宣言を行っている本市といたしましても、日本国憲法の平和主義の精神に基づき、永久平和を確立するための取り組みを続けてまいります。

皆様方におかれましては、核兵器廃絶を目指す活動の輪をさらに広げられ、より多くの方々に平和の大切さを訴え続けられますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参加の皆様のご健康と今後の活動のますますのご発展を祈念し、私のメッセージとさせていただきます。



2019年8月

明石市長 泉房穂

